

# 田んぼの水不足、深刻

## 共産党議員団が牧区にて現地調査



日本共産党議員団は5月29日、牧区坪山地内の田んぼの水不足の状況を見てきました。案内役は中川卓さんをお願いしました。

前夜からけっこう雨が降って、代かきのできない田んぼもかなり水が溜まっていた。しかし、「この程度では代かきするにしても水回りが悪く、代かきの時間がかかりすぎる。もう少し雨がほしいところだ。田植えできたとしても、養い水（やしないみず）があるかどうか心配だ」と中川さんは言う。代かきの時間がかかることにより、北坪山の田んぼはまだ手つかずのところがありました。水不足はいろんなところに影響が出ています。

坪山で一番大きな池（イラスト）の状況も見てきました。昨年の干ばつ以降、ため池に貼ってあった黒いシートが破れ、これから先が大変だとも言うておられま

した。ここの水が溜められなくなると、坪山の多くの田んぼは作付け出来なくなると言います。

坪山では、2007年（平成19）以降、耕作放棄地は1枚も出していないとのこと。干ばつの時でも、苦勞して作付けをして頑張ってきたそうですが、この記録を続けるためには、ため池を掘るための新たな補助制度がどうしてもほしいと中川さんから訴えられました。大事なことだと思えます。私達も頑張ります。

この日の調査では、前夜の雨で田んぼが土砂崩れを起こしたという現場も見てきました。これも中川卓さんから案内してもらいました。場所は県道13号線の近くです。幅30㍍、高さ3㍍くらい落ちて、用水をふさいでいました。早急な復旧工が必要です。



【ハクウンボク】エゴノキ科の落葉小高木。漢字で「白雲木」と書きます。花期は5月～6月で、雲のようにたくさんの白い花を咲かせますが、写真は終わりに近い花でした。最初、エゴノキの花かと思ったくらい、花は似ています。花言葉は、「愛の旅」「壮大」「朗らかな人」。葉は手のひらほどの大きさ。写真は5月23日、大島区板山で撮影。



### 雨の中でもエサ運び

魚を獲ってきたきたコウノトリです。雨の日も風の日も、4羽のヒナを育てるのに一生懸命です。写真は29日、橋爪が撮影。

## 6月議会は7日から

改選後初の定例議会が7日から始まります。今定例会には、能登半島地震関連の災害廃棄物処理費などを盛り込んだ一般会計補正予算などの案件が上程され、審査されます。

議会は先般の臨時議会で正副議長が選出され、各議員の常任委員会の所属も決まりました。それぞれの議員の頑張りが注目されます。もちろん、私も頑張ります。

### 6月定例議会日程（会議開始はいずれも午前10時）

月 日	会議	場所	備考
6月7日（金）	本会議	議場	提案理由説明
6月10日（月）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月11日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月12日（水）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月13日（木）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月14日（金）	本会議	議場	一般質問
6月17日（月）	本会議	議場	一般質問
6月18日（火）	本会議	議場	一般質問
6月19日（水）	本会議	議場	一般質問
6月21日（金）	本会議	議場	議案の採決

# はしづめ法一の活動レポート

No.2158 2024.6.2

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第八〇五回

### 有線放送(2)

先日、上越市内から有線放送が無くなつてしまふという話を聞いて、急にYさんと話をしたくなりました。

Yさんはいまから五十年ほど前、旧源農協の有線放送の交換手さんだった人です。顔を合わせて話をすることはほとんどなかった人ですが、透き通ったきれいな声は何百回も聴いていましたので、いまでもよく覚えています。

現在、新潟市に住むYさんに電話をする、私の父のことはよくご存じでしたが、私のことはうっすらとしか記憶に残っていませんでした。でも、私からの電話を懐かしく受け止めていただきました。

「尾神というか蛭場にあった橋爪照義の子どもです」と言うので、「よくわかりますよ。乳をしぼっていらしたでしょ。お父さんは、いばって何かをするとか、人をけなすことのない穏やかな人でしたね」と言ってくれました。「けっこう頑固なところもあったんですけれど」と私は言ったのですが、父のことをこんな風に評価してくださるのはうれしいことでした。

旧源農協時代の有線放送では事務所の交換手が電話をつなぐ仕事をしていました。

電話をかけるときは、ダイヤルではなく、受話器を外し交換手さんに、「八番ですが、何々の三番にお願いします」などと言います。すると、交換手さんが相手の家の番号を「三番さん、三番さん」と言って呼び出さうとされたのです。

当時の有線放送では、電話といつても一軒ごとにつながるのでなく、数軒のグループ(回線)につながるので、電話がかかってくると、他の家にも声が聞こえる仕組みでした。だから聴く気がなくても、大きな声だと、やりとりがある程度聞こえました。いうまでもなく、交換手さんにもやりとりは聞こえます。でもYさんは、「人の秘密を知るといふのはヤダだったから、

聴くことはなかった」と言います。

当時、交換手は二人体制で、私が知っていたのはYさんと川袋のKさんの二人体制だったころでした。

今回初めて知ったのですが、二人体制とはいっても、二人の職員さんが一日交代で電話交換の仕事をしていたということですから、同じ交換手が一日中、仕事をしていたということになります。

「それなら、昼飯を食べたり、トイレに行く時間もないじゃないですか」と訊くと、「そんなに苦にならなかったですよ」Yさんは言いました。でも、トイレが近いKさんにとっては大変だったようで、当初、一階にしかなかったトイレは二階にも作ってもらったそうです。

人間ですから、食べたり飲んだりしていればトイレには必ずいきます。交換台の席に戻って電話に出ると、「おまん、トイレに行っていたが」と言われたこともあったそうです。交換台にいると、「言葉の優しい人もいれば、きつい人もいた」とか。

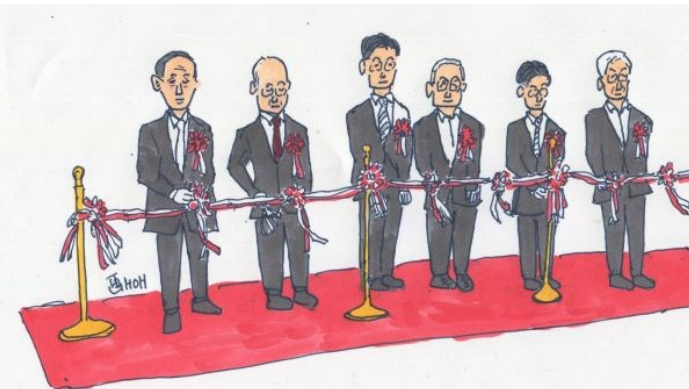
交換手の仕事は電話交換のほかに「お知らせ」の時間に一斉放送する仕事がありました。当時、有線放送は大事な伝達手段の一つでした。交換手さんにとっては、書いたものを読むだけだったそうですが、「気分がのらない原稿のときはべらべらと読んだの」と言っていて、Yさんは笑いました。

Yさんとは、有線放送のことだけではなく、「農協の参事さんがクリスマスケーキをリュックに入れ、バイクに乗って帰った」とか「源中学校時代、絵を描いていたら、熊倉先生が『こつやって描いたらいいよ』と手直ししてくださった」など興味深いエピソードをいくつも聞きました。

いまは情報技術は進み、スマホでテレビ電話ができる時代となりました。便利ではあります、昔の有線放送がなつかしく思い出されるのは何故なのでしょう。

## 「ワークセンターよしかわ」記念式典

障害者就労継続支援B型事業所、「ワークセンターよしかわ」がこのほど完成し、その記念式典が24日、行われました。式典にはスタッフ、来賓、利用者など約50人が集まり、完成を祝いました。



式典が始まるころには風が吹き、寒いくらいでした。玉ぐし奉奠はめったにしないので緊張しました。私は地元市議としてテープカットもさせていただきました。

利用者報告では、Tさん、Mさんが、「広くなって、仕事がしやすくなった。すごくうれしい」と挨拶しました。良かったですね。

## 藤元高輝さんのリサイタル



世界的ギタリストとして有名な藤元高輝さんのリサイタルが26日、吉川コミプラで開かれました。主催は夢をかなえる会。私は都合で前半しか聴けなかったのですが、ギターというのはこんな音も出るのかと思うくらい新鮮な演奏で、惹きつけられました。前半最後の「ヴェニス」の謝肉祭による変奏曲は元の曲が次々と「変装」して出てきた感じで、見事でした。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月22日(水)	5月29日(水)
上越南消防署	0.057	0.053
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.057	0.063
東頸消防署	0.040	0.043
名立分遣所	0.060	0.063
高士分遣所	0.053	0.050